

青果物流通の営業が もっと楽しくなる方法

第2回 出会う相手を変えてみる

ほん だ しのぶ
本田 茂

農業経営診断士 6次産業化プランナー



1. はじめに

前回は、6次産業化など農業ブームの正体は、農業人口の構造変化と異業種からのマーケット参入がその正体であること、そして参入した異業種がはじめての農業の現場に苦勞しているのが実態であることを触れました。JAグループの皆さんには、この状況を脅威とばかりとらえず、参入してくる企業をうまく取り込むことができれば、仕事はもっと面白くなるはずです！

そのためには、まず外部にアンテナを張り、出会う相手を変えていきましょう！ というのが今回の主旨になります。

2. 出してみると意外と歓迎される!?

しかし、実際に外部で知らない人と出会うのは抵抗がある！ という方がいるかと思います。

筆者は、まだJA全農勤務時代に、京セラの会長である稲盛和夫塾長の「盛和塾」に入塾しておりました。いざ門をたたいてみると、周囲の塾生はほとんど経営者ばかりで、サラリーマンは私一人だけ。それでも「学ぶ姿勢があれば立場は関係ないはず」と、たまたま知り合いの士業の方の推薦もあり、思い切って入塾しました。それが、入ってみると、経営者の方が珍しがって、今後の農業へのエールをいただいたりしました。

その他、「農家のこせがれネットワーク」などいろいろな所へ顔をだしておりましたが、当時JAグループの職員であった私へは、組織の批判や厳しい苦言をされる方はいても、私個人を責めたりする人は誰もいませんでした。

世の中の社長や組織を経験している方は、組織の中でがんばっている職員が大勢いることや、個人と組織は別であることを知っているのです。だから、外に出てみると世間が思っているJAへの風当たりがないことに驚くかもしれま

せん。それよりも、「珍しい～」とかえって好印象にとらえてくれるのです！

3. 出会う相手を変えてみる

では、どのようにして出会えばよいのでしょうか？

今、各県、地域ごとに情報を集めれば、夜な夜などこかでセミナーや交流会が開催されているはず。ちなみに私の地元である宮城県はどのようなイベントや交流会があるかということ、次表の通りです。

| 団体名 | 主な活動 |
|-----------|--|
| 日本食農連携機構 | <p>第1次産業と他産業を連携する場を提供するのが目的。 本部会員は東京で3ヶ月に一度セミナーや商談会を開催 最近九州支部や東北支部など地域版も発足。下の写真は、東北支部の商品開発ゼミの様子。</p>  |
| 仙台食農交流ネット | <p>宮城大学の教授が立ち上げた消費者と生産者を結びつける団体。 生産者の圃場で旬を味わうイベントなど、ゆる〜く生産者と消費者が交流できる。食や生産者を大切にするとの方々が集まる。</p> |

| 宮城こせがれネットワーク | 日本の農業を再生するには、農家の息子（こせがれ）を応援した方が早いと立ち上がった団体。宮城県は非常に活発で数々のイベントや勉強会を定期的に開催している | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|--|--|-----|----|---|---------------|--|---|---------------|--|---|---------------|--|---|--------------|--|
| 大崎市雇用創造協議会 | 発酵の町をスローガンにする大崎市では、農業の6次化や商品開発を応援するセミナーを年に数多く開催している。開催のたびに常連の農家さんが増え、ドレッシングや自らの新しい商品化を手掛けるまでに盛り上がっている。 下図はHPのセミナー案内の一部 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>日にち</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>11月11日 (月)</td> <td>商品パッケージの基礎知識① ～ヒット商品はパッケージデザインにヒミツあり！～ 【実習】ジャム&ドレッシングのパッケージデザインを考える ～ビン・ボトル入りの商品～</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>11月18日 (月)</td> <td>商品パッケージの基礎知識② ～手書きの良さを学ぼう！筆記用具で表現も自由自在！～ 【実習】漬物&ハム・ソーセージのパッケージデザインを考える ～袋入りの商品～</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>11月25日 (月)</td> <td>商品パッケージの基礎知識③ ～あなただけのオリジナルブランドをつくる！～ 【実習】セルフマークを考える プリン・ゼリーのパッケージデザインを考える～カップ入りの商品～</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>12月2日 (月)</td> <td>地元印刷会社の営業マンから学ぶマメ知識と計画的な活用法 【実習】オリジナルパッケージの制作/パッケージ発表</td> </tr> </tbody> </table> | | 日にち | 内容 | 1 | 11月11日 (月) | 商品パッケージの基礎知識① ～ヒット商品はパッケージデザインにヒミツあり！～ 【実習】ジャム&ドレッシングのパッケージデザインを考える ～ビン・ボトル入りの商品～ | 2 | 11月18日 (月) | 商品パッケージの基礎知識② ～手書きの良さを学ぼう！筆記用具で表現も自由自在！～ 【実習】漬物&ハム・ソーセージのパッケージデザインを考える ～袋入りの商品～ | 3 | 11月25日 (月) | 商品パッケージの基礎知識③ ～あなただけのオリジナルブランドをつくる！～ 【実習】セルフマークを考える プリン・ゼリーのパッケージデザインを考える～カップ入りの商品～ | 4 | 12月2日 (月) | 地元印刷会社の営業マンから学ぶマメ知識と計画的な活用法 【実習】オリジナルパッケージの制作/パッケージ発表 |
| | 日にち | 内容 | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 11月11日 (月) | 商品パッケージの基礎知識① ～ヒット商品はパッケージデザインにヒミツあり！～ 【実習】ジャム&ドレッシングのパッケージデザインを考える ～ビン・ボトル入りの商品～ | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 11月18日 (月) | 商品パッケージの基礎知識② ～手書きの良さを学ぼう！筆記用具で表現も自由自在！～ 【実習】漬物&ハム・ソーセージのパッケージデザインを考える ～袋入りの商品～ | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 11月25日 (月) | 商品パッケージの基礎知識③ ～あなただけのオリジナルブランドをつくる！～ 【実習】セルフマークを考える プリン・ゼリーのパッケージデザインを考える～カップ入りの商品～ | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 12月2日 (月) | 地元印刷会社の営業マンから学ぶマメ知識と計画的な活用法 【実習】オリジナルパッケージの制作/パッケージ発表 | | | | | | | | | | | | | | |
| 農業法人協会 | 各県で組織。数か月に1度セミナー開催や会員農業法人の現地視察などをおこなう。JAや全農県本部が賛助会員になっている県もある。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 宮城県食産業協議会 | 宮城県の食品産業が主に立ち上がっている。食品産業の立場から農と食の連携や商品開発を研究・交流をしている。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| キリン農業トレーニングセンター・プロジェクト | キリンが被災地で活動する農業法人を応援するプロジェクト。東京の丸の内朝大学と連携したり、民間の先生がマネジメントやIT化を徹底的に叩き込んでいる。海外研修もおこなっている。 | | | | | | | | | | | | | | | |

これはほんの一部です。今は空前の農業ブームで、たくさんの研究会や交流会がみなさんの地域でも同じように活動をしているのではないのでしょうか？

4. 出会う人が変わると視野が広がり、モチベーションがあがる！

こうした会には、とてもモチベーションの高い方が集まってきます。農業に真剣に取り組んでいる

方々の話を聞いているだけで、視野が広がり、自然とモチベーションがあがり、参加した自分も引っ張られていくのです。

こうした会に集まる方は、皆、昼間の現実では苦勞されていると思います。こうした会に参加しながら、理想と現実をいったりきたり、苦しみ悩みながら成長しているのではないのでしょうか？

5. おわりに

実は現在、筆者もある団体の事務局をしています。事務局をして感じるのは、主催者側はJAグループに参加してもらいたいと思っていることです。事務局をして、こうした会を運営する上で大変なことは集客です。今たくさん会がありますが、意外と人集めが大変なのです。ですから、特にJAグループはNGというような、

上から目線での会はほとんどないはずですが。来てくださる方、日本の農業や地域をなんとかしたいと思っている方、学ぼうと意欲のある方は、本当に大歓迎の状態なのです（事務局の私が言うのですから間違いありません）！

そして、まずはこうした場に参加して、次には皆さんがこうした場を作る立場になっていただきたいと思います。地域の農家が望んでいるのは、地元でモチベーションを高められる場であり、このような場を作れる組織力が皆さんにはあるのです。

※但し、今回ご紹介したような会には参加資格や会の主旨がありますので、誰でも参加できるわけではありません。それぞれ会の要綱を読んで検討してください。

執筆者紹介



本田 茂…農業経営診断士。宮城県在住。農家や農業法人に対する経営支援をおこなうため平成24年10月独立。17年間 JA 全農で青果物流通の現場にいた。主な担当品目は、菌茸類、豆類、土物全般、筍、梅、きゅうりなど。平成22年経済産業省登録中小企業診断士となる。(社)コミュニケーション教育協会理事。農業業界、青果物流通業界において人材育成のために講演や研修講師などの活動もおこなう。

●園芸担当者向け研修講師承ります。

お問い合わせは JA 経営実務担当栗野まで awano@zenkyou.com;